

東北を祭りで盛り上げろ！ 「東北六魂祭」開催！

仙台に東北の六大祭りが集結

暑い夏がやってきました。夏祭りのシーズンになると、青森県弘前市出身の私は巨大なねぶたのはりぼてと、`はねと、と呼ばれる参加者の「ラッセラーラッセラー」という威勢の良い声を懐かしく思いだします。



▲秋田竿燈まつり

東日本大震災の発生から4カ月がたち、自衛隊や消防、多くのボランティアらの活動によって、少しずつ復興も進んできました。弘前市は震災の被害を大きく受けてはいませんが、やはり東北人として復興のシナリオには興味があるし、震災の夏祭りへの影響も気がかりでした。

そんな心配をよそに、宮城県仙台市では7月16日から2日間、東北6市の夏のお祭りが集結する「東北六魂祭」が行われます。このお祭りは、青森ねぶた祭に秋田竿燈まつり、盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、福島わらじまつりの6つが参加。各地域が一つになって、東北の復興をさらに盛り上げるのが狙いです。

日本を代表するこれらのお祭りが一度で見られるなんて、普段は絶対にできない体験です。通常は同じ時期に開催しているので、全



▶青森ねぶた祭

部を見学するのは至難の業です。(東北人の悩みです…)

東北新幹線がつなげた絆

そもそもこの取り組みのきっかけは、東北新幹線が昨年12月に全線開通したことを祝い、青森市と仙台市の交流の一環として実施予定だった音楽イベントが、3月の大震災で中止になったことでした。中止を受け、「東北伝統のお祭りで復興を」と青森、仙台の両市長が音頭をとり、残る4地域も賛同して実現したのです。

仙台市経済局国際経済・観光部観光交流課の山田聡主幹によれば、東日本大震災によって東北へ足を運ぶ観光客も減ってしまっているそう。「このお祭りをきっかけに、各自治体が一丸となって東北を盛り上げていければと思います。来られなかった方は、8月1日からの各地のお祭りに足を運んで

いただけたら」と話しています。

夏祭りは東北で決まり

先日、岩手県の「平泉」が世界遺産登録の認定を受けましたが、東北にはまだまだ魅力的な観光地やイベントがたくさんあります。その中でも、東北人として特にお勧めしたいのが夏祭りなのです。東北人と一体になって盛り上がる夜は、本当に心に残る体験です。

8月1～8日まで、6市それぞれで祭りが行われる予定です。ぜひ東北に足を運んでいただき、「東北の熱い魂」を感じてほしいと思います。(松田龍太郎)



おいしい食材で夏を元気に

梅雨が明け、いよいよ夏本番。節電の夏を快適に過ごす「食べるスーパークールビズ」をご紹介します。

梅干しに再注目！

夏を乗り切る食品として注目されているのが、梅干し。中国から漢方薬としてやってきた梅は、毒消しとして鎌倉時代から食されてきました。お勧めの食べ方は「おかいさん」という紀州和歌山の郷土料理。お米と梅干しをほうじ茶で炊くお粥なんです。氷を入れると、暑い夏でもサラリと

食べられる一品です。

この料理を教えてくれた紀州の梅農家「石神邑」では、夏の農作業中に熱中症で倒れた人が一人もいないそう。夏を元気に乗り切るヒントが隠されていますね。

冷たいカレー

暑い夏にはカレーライスもおすすすめ。オレンジが運営するカレーハウス「東京カレーラボ」では、加熱の必要がないカレーとしてピン入り「やみつきカレーみそ」を発売しています。通常のカレーは動物性油脂が多く、常温では凝固してしましますが、「やみつき

カレーみそ」は味噌ベースなので冷たくても、おいしく食べられるのが特徴です。

そのままご飯に乗せるだけで、おいしいカレーの出来上がり。節電にぴったりの一品です。

流行？酢飯カレー

お酢を利かせたご飯にカレーを合わせる「酢飯カレー」を出すお店が増えています。お酢にはクエン酸が含まれているため、疲労回復などの効果もあって節電の夏にはうって



▲ジンジャービクルスカレー

つけ。

この流行にカレーラボも乗り、7月6日から「ジンジャービクルスカレー」を発売しました。お酢というさっぱりとした響きに誘われて、たくさん注文が入っています。ご飯にお酢を混ぜるだけで簡単に作れるので、みなさんも試してみてくださいいかがでしょうか？

サプライズは年に一度のプレゼント

オレンジ編集部では、それぞれの誕生日にサプライズを仕掛けるという行事があります。「相手の驚く顔や喜ぶ顔を想像しながら常に仕事をしてほしい」という社長の小山薫堂の思いが込められています。そして、オレンジ新聞の編集長を務める私、品田美帆が32歳の誕生日にまんまとひっかかってしまいました。

「海外向けの会社PRビデオを作るので、リポーターとして登場するように」と命令が下ったのは先月の初めのこと。CNNリポーター風に決め込み、社長や社員を紹介。社長、副社長にも英語であいさつ…。緊張のため、あつという間に収録は終わりました。

驚いたのはその1週間後。収録したPRビデオの試写をしたときに、サプライズだったことを初めて知ったのです！なんと私がリポーターをしている最中、みんなはこっそりとAKB48のロゴをまねた「SND32」(品田32歳おめでとう！の略)というシールをそこに貼り、こっそりお祝いをしてくれたのです。ビデオにはしっかりとステッカーを貼ったみんなの姿が…。

完成したビデオは、YouTubeでも公開され、普段全く連絡を取らない人からも「動画見たよ！お誕生日おめでとう！」とメッセージをいただきました。こんなにも大勢の人々に誕生日を祝っていただいたのは初めてかもしれません。今度は私が仕掛ける番。次のターゲットを驚かせるにはどうしたらよいか、計画を練っている最中です。

(株) オレンジ・アンド・パートナーズ編集部

お便り・ご感想もお待ちしております。

ご連絡先
ex@orange-p.co.jp
Webサイト
www.orange-p.co.jp